

# 新潟県内 主要河川

越の国とした【越前】【越中】【越後】。その「越後の国」新潟県。

隣接県とは高い山脈を県境とし、前方を日本海に見た自然の要塞で守られ、独特の文化を形成しています。山脈からの豊富な水源で農耕文化が発達し、米どころとして知られています。また、大河・信濃川や阿賀野川河口に開けた新潟市は、その昔は水の都と言われたほど。川は川底を削りながら大地を造り、縁の深い河川と共存しながら大河の流れる地域には大都市が形成されてきました。大河によって開けた地方都市も少なくありません。

しかし、人々に守られ愛されている清流もときには大氾濫を起こします。遙か遠くの山脈に降る雨がまとまり大氾濫となるのでしょうか。数々の支流を飲み込んでいる大河の宿命でもあります。

そんなことで新潟県内に流れる大小の河川を、各種書籍や日本地図を頼りにひろってみました。掲載した河川以外にも地域において親しんでいる川もまだまだ数多くあると思いますが、掲載漏れをご容赦いただき新潟県に流れる川の一部として参考にしていただければと思います。

## 下越地方に流れる川

### 1. 大川水系

(幹川流路延長：17.6 km / 河川数：9)

県北の清流、府屋大川は岩船郡山北町に流れ、その水系は雷川・向川の上流を源として小俣川に合流する。一方は、魚留沢・桑ノ木平沢を源とする山熊田川を形成し、途中で金剛川と合流。もう一方は、剛造山を源とする荒川と合流し、中継川となり府屋にて小俣川と合流して8本の支流を抱き込み、府屋にて大川となって日本海に流れ込む。

### 2. 勝木川水系

(幹川流路延長：13.3 km / 河川数：5)

勝木川も岩船郡山北町に流れる。笠取山を源流とする澄川を起源とし、途中、濁川・大海川の2本の支流を吸収して勝木川として日本海に流れ込む。

### 3. 海府の川

海府の川とは、山北町下海府地区と村上市上海府地区を流れ、直接海に入る中小河川。蒲萄川は海府で最も大きな川。蒲萄山を源とする明神川を支流として、途中で水無川を吸収し、2本の支流をまとめて日本海に流れ込む。その他は、蒲萄山・新保岳を源とした小河川で、脇川・今川・笹川・桑川・無谷川・早川・普川・大川・境川が直接海に流れ込む。

### 4. 三面川水系

(幹川流路延長：41 km / 河川数：23)

村上市瀬波が三面川本流の下流域で、上流域では山形県境の大鳥屋岳や重蔵山等々の山々を源とし、幾多の支流と合流しながら村上市の河口で日本海に流れ込む。

三面川本流の支流

下流域・・・ 門前川・高根川・長津川・薦川・小揚川・滝矢川

上流域・・・ 岩井又川・末沢川・猿田川・泥又川

三面川水系の支流

門前川本流での支流・・・ 赤沢川・綱木川

高根川本流での支流・・・ 鈴谷川・平床川・滑沢・藤沢・新四郎沢

### 5. 荒川水系

(幹川流路延長：73 km / 河川数：61)

荒川は、水源を朝日連峰の大朝日岳を源とする荒川本流、金目川など大小の支流と飯豊連峰の地蔵岳を源とする横川と小国盆地で合流し、さらに赤芝峡をへて新潟県境で飯豊山を源とする玉川が合流して新潟県に入る。豪雪地帯の朝日、飯豊という両巨大山塊を持ち、年間を通して豊かな流れを保ち、岩船郡荒川町の河口で日本海に流れ込む。

荒川本流の支流

下流域・・・ 鍬江沢川・女川・藤沢川・赤谷川・吹の沢川・湯蔵川・大石川  
上流域・・・ 荒沢川・小綱木川・大里川・沼川・上ノ沢・下ノ沢・荒谷沢・沼川

荒川水系の支流  
大石川・・・ 大溝川・小川・西俣川・大熊沢・ゼガイ沢・中俣川・東俣川

## 6 . 胎内川水系 ( 幹川流路延長：39 km / 河川数：10 )

飯豊連峰を源にする胎内川は、下越の本流の中でも一番小さい本流で胎内大橋を過ぎて日本海に流れ込む。

支流  
下流域・・・ 鹿俣川  
上流域・・・ 西俣沢・木川・小俣沢・足ノ松沢・作四郎沢・櫛ノ木沢・頼母木沢

## 中越地方に流れる川

### 7 . 落堀川

胎内川と加治川の間流れ、確たる支流と合流もなく単独の川で、藤塚浜河口にて日本海に流れ込む。

### 8 . 加治川水系 ( 幹川流路延長：65 km / 河川数：28 )

加治川の中流域は新発田市にあり、飯豊連峰に源を發する流れは、支流である内の倉川や小戸の沢などと合流し、紫雲寺町の河口にて日本海に流れ込む。

加治川上流域での源流は、山形県と新潟県の県境に位置する御西岳 ( 2013 葺 ) の山腹を源とする飯豊川と北股川から始まる。

二王子岳を源とし、上流で本流加治川と合流する坂井川に流れ込む 10 本の支流・・・  
熊出川・寺内川・中沢川・南俣川・上の沢川・小出川・石川川・三光川・田貝川・板山川

内の倉川本流の支流・・・ 大石谷沢・七滝沢

### 9 .

五頭山系を源とした中小河川は、福島潟に流れ込み、福島潟放水路を経て新潟東港で日本海に入る。

荒川川・折居川 白山川・大荒川・安野川・都辺田川

### 10 . 阿賀野川水系 ( 幹川流路延長：210 km / 河川数：243 )

大河、阿賀野川は日本地図に見るその源は栃木県の五十里湖を起点として、幾多の支流と合流しながら阿賀川 ( 大川 ) として西会津街道沿いに福島県に入る。その後会津若松を経て、R 49 号線沿いに流れて新潟県に入り、阿賀野川となって新潟空港付近で日本海に入る。

新潟県に入ってから阿賀野川水系の大小の支流を地図上から拾ってみました。( 上流域より )

さねかわ うらかわ まとりかわ  
< 実川・裏川・馬取川 >  
こいでかわ しばくらがわ ひろたにがわ おおそばたにざわ むろやがわ くらたにきわ  
< 常浪川 > 小出川 柴倉川 広谷川 大蕎麦谷沢 室谷川 倉谷沢  
あらやかかわ つなきがわ いくじがわ なかほしりがわ なかのさわがわ  
< 新谷川 > 綱木川 行地川 長走川 中ノ沢川  
やざわがわ いそほがわ  
< 谷沢川・五十母川 >  
はいでかわ せんみがわ なかすぎがわ わるわきわ いまはいでがわ  
< 早出川 > 杉川 仙見川 中杉川 割岩沢 今早出川

### 11 . 信濃川水系 ( 幹川流路延長：367 km / 河川数：880 )

日本一の大河、信濃川。その上流域は長野県では千曲川となり、一方は軽井沢近辺が源と思われる。もう一方は、犀川から松本市を過ぎて梓川から上高地の2千<sup>㍊</sup>級の山々を源とする川であり、数多くの支流(水系)と合流しながら新潟市にて日本海に入る。

新潟県に入ってから信濃川水系の大小の支流(名のつく河川)を地図上から拾ってみました。(上流域より)信濃川としての起点は、新潟県津南町宮野原の信越境から始まる。

#### < 中津川 > (流路延長：46 km)

吾妻連山と裏岩菅山を源とし、秘境秋山郷を流れて津南町で信濃川に注ぐ。

支流・・・硫黄川 栃川 雑魚川 桧俣川 魚野川 野反湖

#### < 清津川 > (流路延長：34.6 km)

名峰苗場山と周辺の山々を水源とし、清津峡溪谷を流れて越後田沢で信濃川に注ぐ。

支流・・・釜川 外の川 カッサ川 祓川 二居川

#### < 魚野川 > (流路延長：66.7 km)

谷川岳や仙ノ倉山を源とし、R 17号線沿いに流れて小出町にて大きな支流と合流。その後、越後川口町にて信濃川に注ぐ。

中流域：破間川水系・・・ 羽根川 和田川 松川 黒又川 守門川 破間川ダム

佐梨川・水無川・宇田沢川・(三国川 五十沢川)・皆沢川・岩井沢川・登川

上流域：大源太川・檜又沢・茂倉川・万太郎谷・仙ノ倉沢

#### < 洪海川 > (流路延長：70.6km)

長野県との県境に位置する松之山の三方岳を源流とし、十日町市松代の犬伏にて越道川と合流。その後、長岡市越路にて信濃川と合流する。

#### < 刈谷田川 > (流路延長：52.8 km)

大岳(1432<sup>㍊</sup>)を源とし、栃尾・見附を流れて分水にて信濃川と合流する。

支流： 母川 大穴沢 中津又川 深谷 塩谷川

#### < 五十嵐川 > (流路延長：38.6 km)

福島県境に源を發し、三条市内で信濃川に合流する。流程およそ45<sup>㍊</sup>。

支流： 守門川 笹堀川 五十嵐ダム湖 大谷川

#### < 加茂川 > (流路延長：17.7 km)

栗ヶ岳・權ノ神岳を水源とし、新潟県の中央を流れる加茂川は、途中で小俣川と合流しながら加茂新田にて信濃川に合流する。

## 上越地方に流れる川

### 1 2 . 谷根川水系

谷根川は米山の北麓にある同山系を源とし、途中で小俣川・倉谷川と合流する。その後、信越本線青海川で日本海に注ぐ河川であり、流程は短い。

### 1 3 . 柿崎川水系

(幹川流路延長：19 km / 河川数：10)

柿崎川は米山の南面にある同山系を源とし、米山川・猿毛川などと合流しながら柿崎にて日本海に注ぐ。

### 1 4 . 関川水系

(幹川流路延長：64 km / 河川数：78)

長野県と新潟県の県境に流れる関川上流部、水源は日本百名山の妙高山や火打山、焼山、長野県戸隠の乙妻山などであり、途中いくつもの支流を抱き込みながら直江津で日本海に注ぐ。

乙見湖 土路川 大熊川 櫛池川 関川本流

## < 保倉川 >

長野県と新潟県の県境である深坂峠を水源とする保倉川。  
途中の上越市浦川原区地域で小黒川や高谷川を抱き込んで、関川と河口にて合流し日本海に注ぐ。

---

## 15 . 桑取川水系

( 幹川流路延長 : 15.7 km / 河川数 : 7 )

---

上越市の重蔵山を水源とし、西谷内川や中俣川を抱き込んで有間川地域にて日本海に注ぐ。

---

## 16 . 名立川水系

( 幹川流路延長 : 19 km / 河川数 : 7 )

---

新井市の大毛無山を水源とし、途中いくつもの小さな支流を抱き込みながら名立にて日本海に注ぐ。

## < 能生川 >

火打山を水源とし、名立川水系と早川水系に属さず、単独流域を形成し日本海に注ぐ。

---

## 17 . 早川水系

( 幹川流路延長 : 13.7 km / 河川数 : 10 )

---

焼山を源とし、火打山川・焼山川・一ノ倉川・昼間川・前川・大滝川などを集めて糸魚川梶屋敷地域にて日本海に注ぐ。

---

## 18 . 海川水系

( 幹川流路延長 : 14.5 km / 河川数 : 4 )

---

海川も焼山を源とする。海谷溪谷を経て、不動川・水俣川・タンゴ川を抱き込みながら、糸魚川市押上地域にて日本海に注ぐ。

---

## 19 . 姫川水系

( 幹川流路延長 : 60 km / 河川数 : 47 )

---

北アルプスの白馬山麓を源とした姫川は、長野県白馬村から糸魚川の日本海に流れ出る。  
新潟県に入ってから、大所川・横川・小滝川・根知川・虫川・大野川などを抱き込んで日本海に注ぐ大河。

---

## 20 . 佐渡の川

---

佐渡は、芸能・文化・歴史・自然と魅力あふれる美しい島である。  
代表される山々は、大佐渡山脈や小佐渡山脈などであるが、河川の大部分は大佐渡山脈を源として形成され、小佐渡山脈の水源も中央の国府川に流れ込む。島ゆえに海が近く、入り組んだ沢の関係から大河はないが、中小河川が数多く点在している。

佐渡中央、最大の国府川の水系 ( 流路延長 : 19 km )

上流から・・・国府川・天神股川・大野川・長谷川・地持院川・新保川・中津川・小倉川・藤津川・竹田川

外海府海岸に注ぐ小河川

奥より・・・大野川・浄蓮坊川・大川・大ザレ川・泊川・大河内・五十浦川・関川・矢柄川・大倉川・石名川・小野見川・入川・石花川・戸地川

内海府海岸に注ぐ小河川

奥より・・・釜川・古川・黒姫川・馬首川・玉川・白瀬川・五十里川・椿川・羽黒川・梅津川